

▶柄よりも色にこだわる人が増えてきた。「黒サツマストール」のピンク



▼九州大学100周年記念のストールは、同大学ホームページで購入できる



清泉女子大学・九州大学と コラボしたストールを製作

株式会社ランコントル

清泉女子大学が、旧島津公爵邸（東京都指定有形文化財）である本館の竣工100年の記念品を作ることを決定。鹿児島県へ話が持ち込まれると、伝統工芸品の大島紬に白羽の矢が立った。職人に直接話を聞こうと、学長が来鹿したときのことだ。前泊したホテルの売店で、色合いと肌触りを気に入って求めたストールが、偶然にもランコントル（大島紬秀円）製だったことも

あり、とんとん拍子で話が進んだという。東日本大震災のときに一度立ち消えとなったが、九州大学100周年記念のワイン色のストール（男女兼用）もロングセラーだ。代表の重田茂和さんは、日常生活に合った製品を作るうちに、「特産品は作るだけでなく、どう見せるかが大切」と商品プロデュースにも力を入れるようになった。最近では「紬だから購入する」という人は減って

いて、シンプルに「自分に似合うか」「気に入るか」を重視する人が増えているそうだ。一方で好みの色を出すために糸作りから手掛けるなど、同社は完全オーダーメイドの大島紬の着物も制作。こだわりの反物が評判を呼び、バリコレでも採用されるようになった。重田さんは、「伝統は『新しき手』を加えながら受け継がれていくもの」と海外も視野に入れて挑戦する。

■株式会社ランコントル

工房／鹿児島市下福元町6952-1
電話／099-261-7708
創業／2011年
代表者／重田茂和
事業内容／本場大島紬・大島シルク製品の製造・販売
URL／<http://rencontre.jp/>
フェイスブック「大島紬秀円ランコントル」



◀南半球で獲れたマグロは上質で美味。「赤い宝石」と呼ばれている

▼建物はマグロ船を模したユニークな3階建て。大きさも漁船とほぼ一緒だ



▲マグロの解体ショーは第2・4土曜の13時～(変更の場合あり)

新鮮マグロを食べる&買う&知る 新しい観光スポットが誕生

薩摩串木野まぐろの館

国道3号から山手へ車を走らせること数分の場所に2013年12月、「薩摩串木野まぐろの館」が誕生。平日も県内外から多くの人で賑わっている。いちき串木野市は、遠洋マグロ漁船船籍数・日本一を誇る町だが、釣り上げたマグロのほとんどは、大都市に近い静岡で水揚げされているのが現状だ。創業60年以上の歴史とマグロ漁船4隻を擁する新洋水産（有）の松元要社長は、「新鮮で

おいしいマグロをもっと地元の人たちに味わってほしい」とかねてから考えていて、今回のオープンへと至った。1階の物産館（10～18時）には自慢のマグロ商品やまぐろバーガーのほか、県内各地の特産品や土産物が並ぶ。マグロの解体ショーコーナーや、喫茶室もあるのが特徴だ。2階の「まぐろ料理専門店松榮丸」には、落ち着いた雰囲気、寿司カウンターも設置。漁船直営をう

たったこのレストランは、150席のうち70席が個室となっていて、プライベート感あふれる雰囲気の中でバラエティ豊かなマグロ料理を気軽に堪能できる（11～15時、17～22時）。操舵室のような3階にはまぐろ展示館を設けた。また建物全体に映像を映し出す3Dプロジェクト「マッピー」を南九州で初常設。土・日曜の夜にショーを開催している。

■薩摩串木野まぐろの館

本社／いちき串木野市八房3141-1
電話／0996-29-5515
設立／2013年12月
代表者／松元要
事業内容／1階…まぐろの館(物産館)、2階…まぐろ料理専門店 松榮丸、3階…まぐろ展示館